

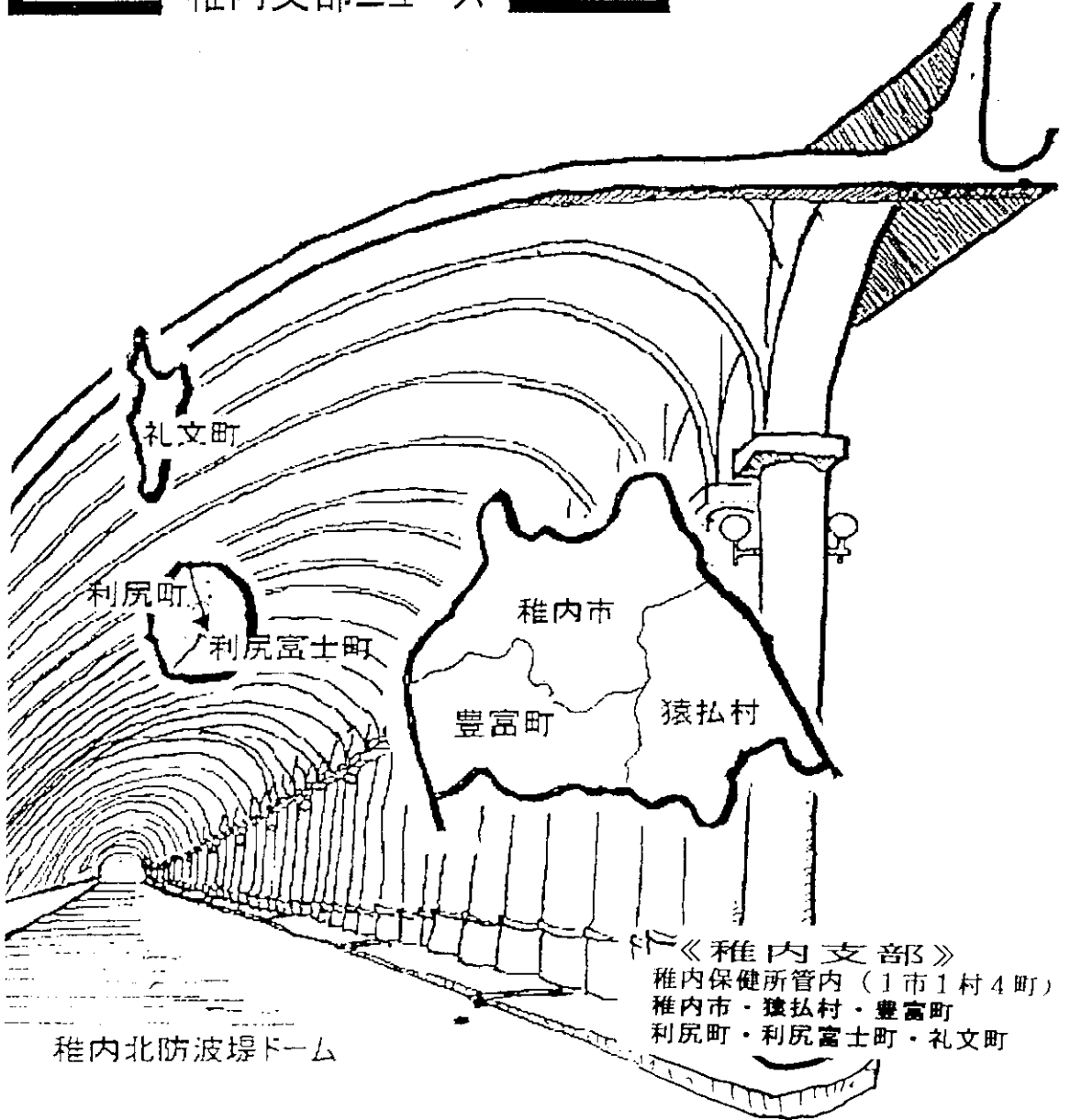
HSK

なんれん

さいほく

稚内支部ニュース

昭和48年1月13日
第3種郵便物認可
HSK通巻第423号
発刊2007年6月10日
毎月10日発行・1部100円
(会費に含まれています)
編集 財団法人
北海道難病連稚内支部
発刊 北海道身体障害者団体
定期刊行物協会(HSK)



稚内北防波堤下ーム

《稚内支部》
稚内保健所管内 (1市1村4町)
稚内市・猿払村・豊富町
利尻町・利尻富士町・礼文町

2007年度稚内支部 運営委員総会の報告

4月12日(木)、午後1時30分から、稚内市保健福祉センター1階リハビリ室に於いて2007年度の運営委員会総会が開かれました。

議事は、横山支部長から2006年度の活動として、総会、支部役員会等の会議報告、北海道難病連の第27回全道支部協議会、打ち合わせ会、全道集会と広告依頼活動、稚内市ふれあい広場、医療講演会、支部主催の合同クリスマスパーティ、枝幸町で行われた道北地区



支部役員研修会などが開催され、その報告がなされた。さらに、2006年度会計収支報告があり、ともども報告どおり承認されました。

次に2007年度の活動計画案と収支予算案が提案され、討論のあと原案通り承認されました。

最後に、役員改選が行われて総会を終了しました。

財団法人・北海道難病連稚内支部 2007年度事業・行事計画

予定月日	行事計画・行事名	会場	予定参加数	備考
4. 12	稚内支部総会	稚内市保健センター	15名	
5. 12	北海道難病連総会	札幌市	1名	
5. 13	北海道難病連支部協議会	札幌市	1名	
6.	稚内支部役員会	稚内市保健センター	8名	
8. 4~5	全道集会	札幌市	3名	
9. 2	稚内市ふれあい広場	総合福祉センター	5名	
10.	地区ふれあいの集い	豊富町	8名	
11.	稚内支部役員会	稚内市保健センター	8名	
12.	クリスマスパーティ		40名	
	機関紙発行 150部			
'8. 2	道北地区支部役員研修会	美瑛町	5名	

財団法人・北海道難病連稚内支部・決算・予算報告書

(決算：自2006年4月1日～至2007年3月31日 予算：自2007年4月1日～2008年3月31日)

(収入の部)

科目	2006年度決算	2007年度予算	備考
支部運営助成金	129,000	129,000	道難病連助成金
市町村助成金	10,000	10,000	利尻町補助金
その他補助金	50,000	50,000	稚内市福祉協議会助成金
参加費収入	125,300	110,000	全道集会参加費
寄付金収入	0	0	
協力会還元金収入	30,500	30,000	道難病連協力会還元金
募金箱還元金収入	5,778	5,000	
署名・募金還元金収入	420	3,000	署名還元金
販売事業収入	968	3,000	正月しめ飾り販売還元金
その他事業収入	8,100	10,000	全道集会広告還元金
受け取り利息収入	77	118	
難病連参加事業助成金収入	71,820	66,000	全道集会他会議出席旅費
積立金取崩収入			
前期繰越金	91,970	62,982	
収入合計	523,933	479,100	

(支出の部)

科目	2006年度決算	2007年度予算	備考
会議費	81,710	81,000	
支部役員会	14,390	15,000	支部総会・運営委員会交通費
本部会議費	66,320	66,000	本部総会他会議出席旅費
その他会議費			
事業費	373,579	393,100	
地区集会費		30,000	豊富地区集会
全道集会	94,800	50,000	全道集会参加補助費
医療講演会			

検診相談会			
機関紙誌費		20,000	
研修会	79,400	80,000	道北地区支部役員研修会
レク・交流会	196,297	200,000	交流会経費
地域部会援助費			
相談員補助			
活動費		10,000	慶弔費他
負担金・分担金			
HSK 負担金	3,100	3,100	
維持運営費	6,662	5,000	
事務局費			
事務消耗品費	4,860	3,000	事務消耗品費
通信費	1,540	1,000	切手・八力牛
交通費			
資料費	262	1,000	
雑費			
積立金支出			
支出合計	460,951	479,100	
次期繰越金	62,982		

財団法人・北海道難病連法人第 14 期支部役員名簿

1、難病連

役職名	氏名	所属部会	住所	電話
理事				
評議員	畠山 清一	後縦靱帯骨化症		

2、支部

役職名	氏名	所属部会	住所	電話
支部長	畠山 清一	後縦靱帯骨化症		
事務局長	横山 考	肝炎部会		
幹事	大塚満寿美	肝炎部会		
//	畠山 隆	後縦靱帯骨化症		
//	石内 幸子	協力会員		

//	福田 茂哉	腎友会	
//	岡部 伸雄	乾癬部会	
会計監査	本間 秀秋	脊髄小脳変性症の会	
//	山口 末子	脊髄小脳変性症の会	
運営委員	池田 英子	無筋力症部会	
//	大須賀文子	パージャー病部会	
//	桜井 さち子	腎友会	
//	堂前 徹	肝炎部会	
//	三浦 勉	パーチェット部会	

(財)北海道難病連2006年度 道北地区支部役員研修会開かる

3月31日から4月1日、枝幸町保健福祉センターにおいて、道北地区の支部役員研修会が開かれ、役員研修会と交流会が開かれました。これには、旭川、稚内、美瑛、北見、中頓別などから57名の参加がありました。また、14名のボランティアの方が会議を支えてくださいました。

冒頭、開催地・枝幸町の荒屋町長、天野町議会議長が歓迎と激励の挨拶がありました。

研修会では、北皇学園大学社会福祉学部助教授の田中先生の「自立を支援することの意味を考える」と題した講演のDVDを見ながら学習を深めました。

2日目は、北海道難病連の小田専務理事から「患者会の3つの役



割」と、難病対策をめぐる情勢報告がありました。また、各支部の活動報告と、交流・討論が行われ、午後1時過ぎに終了しました。

一日目夜は、ホテルニュー幸林で、交流会が開かれましたが、枝幸名物の料理を堪能しました。特に、取立ての蟹が出され参加者はおおいに感激しました、加えて地元難病仲間の太鼓やギターなどの楽器での演奏、難病連応援ソング・愛“虹の橋”などのアトラクションがあり、交流は大いに盛り上がりました。

稚内支部からは、畠山（後靱帯部会）、本間（背小の会）、福田（腎臓部会）、桜井（腎臓部会）、石内（協力会員）、横山（肝炎部会）、岡部（乾癬部会）の5名が参加しました。

難病患者、障害者、高齢者が安心して暮らせる社会をめざして

(財)北海道難病連2007年度総会開かる

患者会の3つの役割を発揮して

5月12日、札幌市の札幌サンプラザ会館で北海道難病連の2007年度総会が開かれました。総会は2006年度の総括と決算、2007年度の方針と会計予算、新役員の選出を満場一致で採択しました。

決められた2007年度の重点課題は次の通りです。

- ① 療養病床の大幅削減、高齢者医療制度の導入による医療抑制、リハビリテーションの日数制限などの改悪に反対し、医療費負担を軽減させる活動に取り組みます。
- ② 難病対策の見直しにより、対象者が切り捨てられないことがないように、難病対策予算を大幅増額するように、国と自治体へ強く働きかけます。
- ③ 北海道の難病対策の後退を食い止め、単独事業をさらに充実するよう、要望活動に取り組みます。

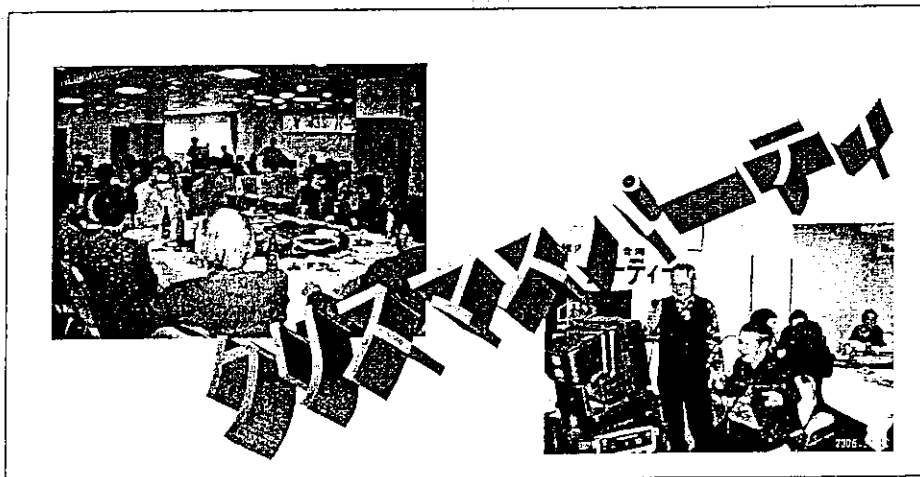


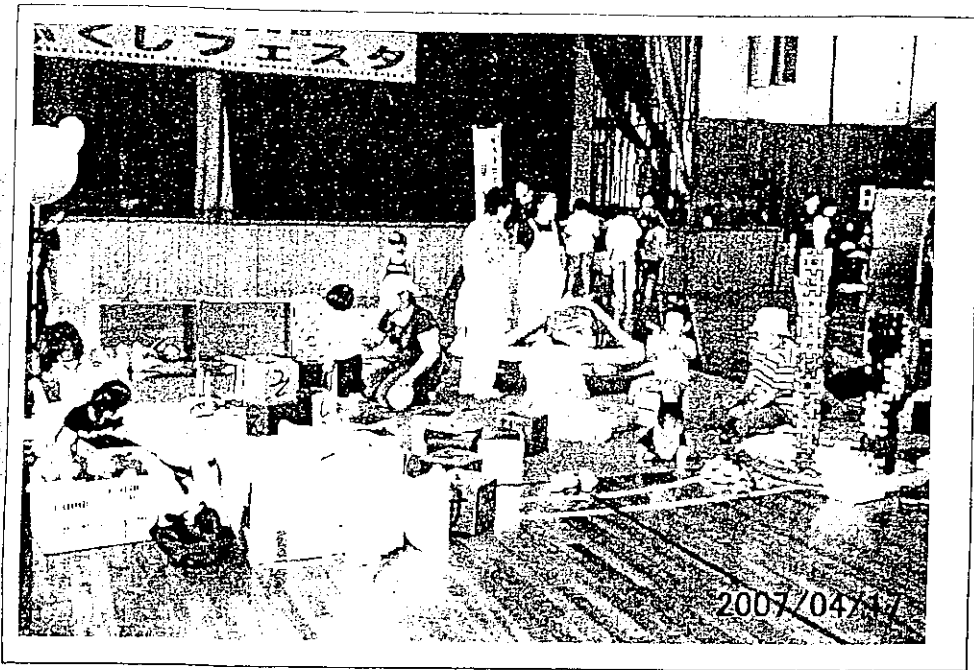
総会に参加する畠山支部長

- ④ B型・C型肝炎患者の経済的、社会的救済と専門医療体制などの対策を求める活動に取り組みます。
- ⑤ 自立支援法の問題点の改善の活動に取り組みます。
- ⑥ 介護を必要とする全ての患者、障害者に対して、必要な介護が提供されるよう要望活動に取り組みます。
- ⑦ 私たちの活動を支える道や市町村の補助金をこれ以上削減しないよう、要望活動に取り組みます。
- ⑧ 難病患者・長期慢性疾患患者の就労支援事業に取り組みます。
- ⑨ JPA（日本難病・疾病団体協議会）に結集し、全国の仲間と連帯して、「総合的な難病対策の実現」と、医療、介護、福祉の充実を目指す活動に取り組みます。
- ⑩ 地域支部の育成に取り組み、支部協議会と各地区役員研修会を充実させる活動を強めます。
- ⑪ 活動を支える資金活動の取り組み強化をめざして、皆さんで参加できる資金作りとして、協力会員の拡大、募金箱設置の取り組みを強化しましょう。
- ⑫ 私たちの活動や要望を広く知らせるために、難病連ホームページの改善と機能アップに取り組みます。
- ⑬ 全ての部会・支部の協力と参加で、第34回全道集会（札幌大会）を成功させましょう。

13日は難病センターで支部協議会が開かれ、各地の役員研修会の調整や来年の全道大会は函館で行うことなどを話し合いました。総会・支部協議会には畠山氏、岡部氏が評議員として議案討議に参加しました。また、畠山氏は稚内支部推薦評議員、岡部氏は乾癬部会推薦評議員として再選されました。

支部活動の紹介





稚内ふれあい広場

北海道難病連・7つのスローガン

北海道難病連とは北海道難病連は 1973 年に 10 団体（1,100 家族）によって発足し、現在は 30 部会（疾病別団体）と 24 地域支部（1 準備会）で構成され、全道 13,300 家族が参加する団体となっています。次の 7 つのスローガンと 2 つの希い（ねがい）を掲げて、多彩な活動をしています。

7つのスローガン

- ☆国と道は、原因の究明と治療法の確立を急いで下さい！！
- ☆すべての難病の治療を公費負担にして下さい！！
- ☆介護手当の支給と通院交通費、付添費の補助を！！
- ☆患者、障害児者の教育の選択権を親と子に！！
- ☆医療過誤、薬害を無くし被害者の救済を！！
- ☆北海道の総合的な難病対策の確立を一日も早く！！
- ☆広く道民と手を結び、明るい福祉社会を実現させよう！！

2つの希い

- ☆私たちの住んでいる地域の医療・地域の福祉・地域の活動を！！
- ☆難病患者・障害者・高齢者が安心して暮らせる社会を！！